

大阪市天王寺動物園 ナイトZOO 照明改修(第2期)



所在地：大阪府大阪市天王寺区茶臼山町1-108 S393
 面積：約11ヘクタール
 動物飼育点数：約200種、1000点
 施工主：大阪市建設局天王寺動物園公事務所
 LEDライティングシステム施工：(株)国見電気
 照明改修完成：2016年3月

大阪市天王寺動物園では2015年から期間限定の夜間営業「ナイトZOO」がスタート。エリア拡大のため2016年第2期工事が行われ、LED照明による多彩な演出プログラムを導入しました。

昨年100周年を迎えた都市型動物園で夜間営業「ナイトZOO」をスタート

2015年100周年を迎えた大阪市天王寺動物園は、地下鉄の駅からも近い交通至便な都市型の動物園で、園内に約200種の動物が飼育され、多くの市民に親しまれています。開園100周年の記念行事の一環として期間限定で夜間営業「ナイトZOO」を実施。園内には電球色で統一されたガーデンライト、投光器等を設置して夜の動物園を演出しました。今回の2期工事ではLEDデジタルカラーライティングシステム「ルミライナーD」により、8つの演出パターンからサバンナの夜をカラフルに彩る演出を実現しました。

ルミライナーDによる自由自在なLED照明で夜の動物の姿を演出

第1期工事で「ナイトZOO」の主照明を導入し、第2期では「ライオンエリア」と「アフリカサバンナエリア」を中心に照明改修工事が行われました。「ナイトZOO」は、普段見ることのできない夜の動物たちの姿を楽しんでもらう企画で、ライトアップにLEDデジタルカラーライティングシステム「ルミライナーD」を採用しています。RGB3色のLEDにより混色制御を行い、自由自在なカラー照明演出を可能にしています。

ライオンエリアには、壁面のライトアップや間接光として空間演出に適したカラーブラストパワーコアを3台設置。両サイドの岩場と中央の樹木を照射します。アフリカサバンナエリアには、大規模なライトアップに適したカラーリーチパワーコアを4台設置。3台はサバンナエリアの奥の植栽を照射するため横長の広角配光レンズを使用し、1台は狭角配光レンズで常緑樹のシンボルツリーを照射しています。照明プログラムは夜桜をイメージしたピンクと白主体の「ブロッサムナイト」、動物の躍動感にアクセントをつけた「サバンナの雨季の一日」、ポップで動きのある「ハロウィン」などバラエティに富んだ演出パターンから季節・イベントに応じたシーンを再生。幻想的な夜景のなかに興行きをもたらしつつ、ライオンやキリンが登場したとき入園者に大きな興奮と感動をもたらす演出となっています。



プログラム「ハロウィン」で照射しハロウィンナイトの賑やかな演出をしたサバンナエリアの照明



プログラム「サバンナの雨季」で照射し木々が生き生きと躍動感を演出したライオンエリアの照明



プログラム「ブロッサムナイト」で照射しピンクを主体とした色変化を演出したサバンナエリアの照明



プログラム「日本の冬」で照射し降り積もる雪、氷のイメージを演出したサバンナエリアの照明



プログラム「レインボー」で照射し両サイドの岩場と中央のシンボルツリーが浮かび上がったライオンエリアの照明



プログラム「サバンナの乾季」で照射し砂埃と木々が枯れ赤茶けたイメージを演出したライオンエリアの照明



プログラム「1日の流れ」で照射し夕焼けになったシーンを演出したサバンナエリアの照明



プログラム「レインボー」で照射しポップで動きのある演出をしたサバンナエリアの照明



(上) LED照明器具(カラーリーチパワーコア)
 (中) LED照明器具(カラーブラストパワーコア)
 (下) LED演出照明制御盤



アフリカサバンナエリア

- R1 横長の広角配光で奥の樹木を照射
- R2 横長の広角配光で手前のツリーと奥の樹木を照射
- R3 狭角配光で手前のシンボルツリーを照射
- R4 横長の広角配光で奥の樹木を照射

ライオンエリア

- B1 広角配光で北側の岩壁を照射
- B2 広角配光で手前のツリーを照射
- B3 広角配光で南側の岩壁を照射

主な納入機器一覧

設置場所	器具名	形名	台数	備考
演出照明	LED照明システム(ルミライナーD)	特注	—	—
アフリカサバンナエリア	LED投光器 カラーリーチパワーコア	特注	4	消費電力：270W
ライオンエリア	LED投光器 カラーブラストパワーコア	特注	3	消費電力：50W